

荊崎市 ミアキス訪問・・・12月10日（月）

今回訪問させていただいたのは、青少年育成プラザ「ミアキス」です。当日はお忙しい中、理事長の松本恵子さんとスタッフの久保田光貴さんが対応してくださいました。ミアキスに入ると奥では中高生が卓球をしていたり、中ほどでは3・4人の中高生がおしゃべりをしていたり、入口をちょっと入った右手では、クリスマスの飾り付けをしている高校生に交じって梨大生が笑顔で何やらお話をしながら準備にあたっていました。

クリスマスの準備をサポートしていたのは、言語教育コース2年の岩下友和さんと生活社会教育コース2年の酒井真周さんです。「教員を目指すにあたって、どんな点に力を入れて活動を続けていきたいと思いませんか」という質問に次のように答えてくれました。

岩下さん：「学校の外での中高生を見ることで、普段の学校にいる姿とは違う、素に近い姿を見ることができます。一人一人の中高生に対し様々な面からアプローチの方法を学んでいきたいです。」

酒井さん：「中高生とのコミュニケーションの取り方や、彼らがどんなことを思いながら生きているのかを見ていながら、活動を続けていきたいです。中高生と一緒に成長していけたらと思っています。」

クリスマスの準備にあたっていた2人の高校生に「大学生と一緒に活動したり、いろいろ相談にのってくれたりすることをどう思いますか。」と尋ねました。高校生は「社会人とは違って、大学生は身近に感じてよいです。勉強も教えてもらえます」、「大学生と接する機会がないからうれしい。イベントにもきてもらえるし…」と明るく答えてくれました。



＜クリスマスの飾り付けの準備＞

NPO法人河原部社理事長の松本恵子さんのお話・・・「梨大生の2人に、5月から活動していただいて助かっています。大学生が、中高生と関わることの重要性を学んだり、対話する力を身に付けたりしてほしいと思います。また、大学生自身がこのような活動を通して自分自身で学ぶことを考え成長していくことを願っています。」

富士河口湖町 大石小・小立小学校訪問・・・12月26日（水）

今回訪問させていただいたのは、富士河口湖町の大石小学校（立川博校長先生）、小立小学校（小林統也校長先生）です。お忙しい中、富士河口湖町教育長の渡辺政孝先生をはじめ、教育センター所長さん、校長先生方が対応してくださいました。皆様からは、梨大生の活躍ぶりに感謝している旨のお話を頂きました。

大石小学校では、科学教育コース4年の守屋里穂さん、小立小学校では、生活社会教育コース1年の渡邊昭喜啓さんと、科学教育コース1年の岩村美玖さんの学習支援の様子をそれぞれ参観し、いくつか質問をしました。

① 今回、学習応援教室で活動してみようと思ったきっかけは何ですか？



＜小立小学校の学習応援教室＞

守屋さん：「小中学校の学習のつながりや発達段階を考慮した指導を学んでいきたいという思いや、地元の教育ボランティアで活動したいという思いがありました。」

② 活動をして気付いたこと・学んだこと・やりがいなどを教えてください。

岩村さん：「学年に応じて、一人一人の子どもにわかりやすく教えるのが難しいと感じました。もっと教え方が上手になりたいと思います。」

③ あなたは、どのような先生になりたいですか？

渡邊さん：「子どもと同じ目線に立ち、共に成長できるような先生になりたいです。」

◇ 大学生のお兄さんやお姉さんが勉強を教えてくれることをどう思いますか？

教室にいた子どもたちからは、「優しく教えてくれるからうれしいです。」との声が聞かれました。



＜大石小学校の学習応援教室＞

富士河口湖町教育センター所長の小河原徳博さんのお話・・・「多くの先生方に支えられている学習応援教室に、新たに梨大生が加わりました。感謝です。子どもたちと歳が近い学生の皆さんは、子どもたちを受け入れやすく質問がしやすいところが良いと思います。学生の皆さんが教職を目指す上で、応援教室で子どもたちとの関わりを学んで自分の将来の糧にしてほしいと願っています。」